

新磯地区賀詞交換会が盛大に開催されました



新元号「令和」に変わり初めての新磯地区賀詞交換会が新磯地区自治会連合会と新磯公民館との共催で1月11日(土)に新磯公民館大会議室で開催されました。来賓をはじめ80人を超す大勢の方々が出席し、地区連の富田副会長と新磯公民館利用者協議会の佐藤委員の司会により、地区連の門馬副会長の開会挨拶に始まり、地区連の穂苅会長と磯川公民館長の主催者挨拶、来賓を代表して隠田(おんだ)副市長の祝辞に続き、新年の出発を祝す「鏡開き」、地区民児協の佐田会長の音頭で「乾杯」が行われ、歓談となりました。

およそ1時間の歓談の後、地区連の野頭副会長の挨拶があり、地区の発展を期し、閉会しました。



司会の富田氏、佐藤氏



どんど焼き(団子焼き)を開催!

正月飾りやお札などを焼いて、無病息災を願う「どんど焼き」が1月12日(日)、13日(月・祝)に新磯地区内の田んぼや空き地など各所で開催されました。時おり小雨が降る中、上磯部地区では三段の滝下多目的広場脇の空き地に100人以上の方々が集まり、お焚き上げの残り火の熱さと煙を我慢しながら、正月飾りなどとともに持ち寄った三つ又の棒を差し入れ、枝先に付けた団子を焼いていました。



上磯部地区

「書初めの紙を燃やして高く舞い上がると字が上手になると言われ子どものころ持ち寄ったが、今は持ってくる子はいなくなった。時代の変化なのかなあ〜。」と惜しむお年寄りの声がありました。

近所付き合いが希薄な傾向にある昨今、「どんど焼き」は世代を問わず地域の方々と積極的に交流し、顔見知りになれる貴重な行事の一つとして変わらずに継承してほしいものです。



新戸地区内

《事例》先の方にダルマを付けた約6メートルの長い竹を中心立てて、それを支えるように三本の竹を立てかけるようにして中心の竹に結び付け、その下に藁や枝などを円錐形に積み上げ、全体を縄で巻いて締める。